

活動実績報告書

平成26年4月11日

登録番号 2013440

氏名 松尾 亨

1. 活動状況

平成23年4月～平成26年3月

(1) 流域管理業務を通じた活動

(ア) 効率的な間伐システム検討会

(ウ) 低コスト造林セミナーの開催

(イ) 森林計画住民懇談会の開催

(エ) 民国連携共同施業団地の設定

(2) 活動の目的と内容

森林・林業再生プラン実現に向け、路網整備・森林施業の集約化・人材育成を目的に取り組み、現場の業務を通じた視点から技術力の向上、民国連携の推進が図られるよう、技術の向上・低コスト化への検討会等を実施した。

(3) 活動の課題と問題点

活動内容	課題と問題点
効率的な間伐システムの検討会	・効率的な間伐の実践 ・列状間伐の民有林への普及 ・強固な路網の作設
森林計画住民懇談会の開催	・森林計画制度について住民の関心が低い(しかし、森林行政には興味がある) ・計画案の実行管理(予算と実行体制)
低コスト造林セミナーの開催	・伐採と並行した植栽(地拵経費の節減) ・カラマツコンテナ苗の形質に問題点を感じ種苗生産者と改良 ・コンテナ苗の価格低下と普及
民国連携共同施業団地の設定	・民有林の団地化では、森林組合担当者のとりまとめ ・路線の配置等の協議のとりまとめ

問題点の解決

各業務ごとに上記の課題と問題点がありますが、民有林や地方公共団体との連携した業務の推進において、担当者との協力関係の構築と、課題への共通認識を持ち、問題点のクリアへつなげていくことが重要と考ます。

注1：1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載して下さい。

(4) 活動成果と今後の展開

(ア) 効率的な間伐システム検討会の開催

高性能林業機械の活用、列状間伐の指導、表土積ブロック工法による路網作設

(イ) 森林計画住民懇談会の開催

住民からの林道整備や森林環境教育に対する要望は高く今後の展開が重要

(ウ) 低コスト造林セミナーの開催

多雪寒冷地でのコンテナ苗の有用性を共有でき、今後の普及拡大に資することができた

(エ) 民国連携共同施業団地の設定

団地設定は事業の一步であり、今後さらに生産性の高い路網の拡充と森林計画が重要

2. 研修の受講状況

研修名 流域管理Ⅱ研修 平成24年2月

(実施主体) 林野庁 森林総合研修所

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

・森林総合監理士としての活動等の研究会・シンポジウム等での発表

(1) 平成21年度 林野庁技術開発重点課題 林野庁技術開発部会

「天然更新を活用した牧草地の森林化」 平成23年度中間報告

平成25年度完了報告

(平成23・25年度東北森林管理局森林・林業技術交流会発表)

(2) 平成25年度東北森林管理局森林・林業技術交流発表会

「多雪寒冷地におけるコンテナ苗の改良と育林手法の開発」

(3) 森林・環境フォーラム(平成25年)みどりを守り育てる岩手県民会議主催

「列状間伐は森を生かすか!？」パネラーとして、国有林の間伐の現状と今後の事業の展開、列状間伐の野生生物(猛禽類)への効果についてパネルディスカッション

注2: 2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3: 活動実績報告書は、A4で全2枚として下さい。

注4: この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁のホームページに掲載しますので、見やすさ 読みやすさ、個人の特定等に、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。